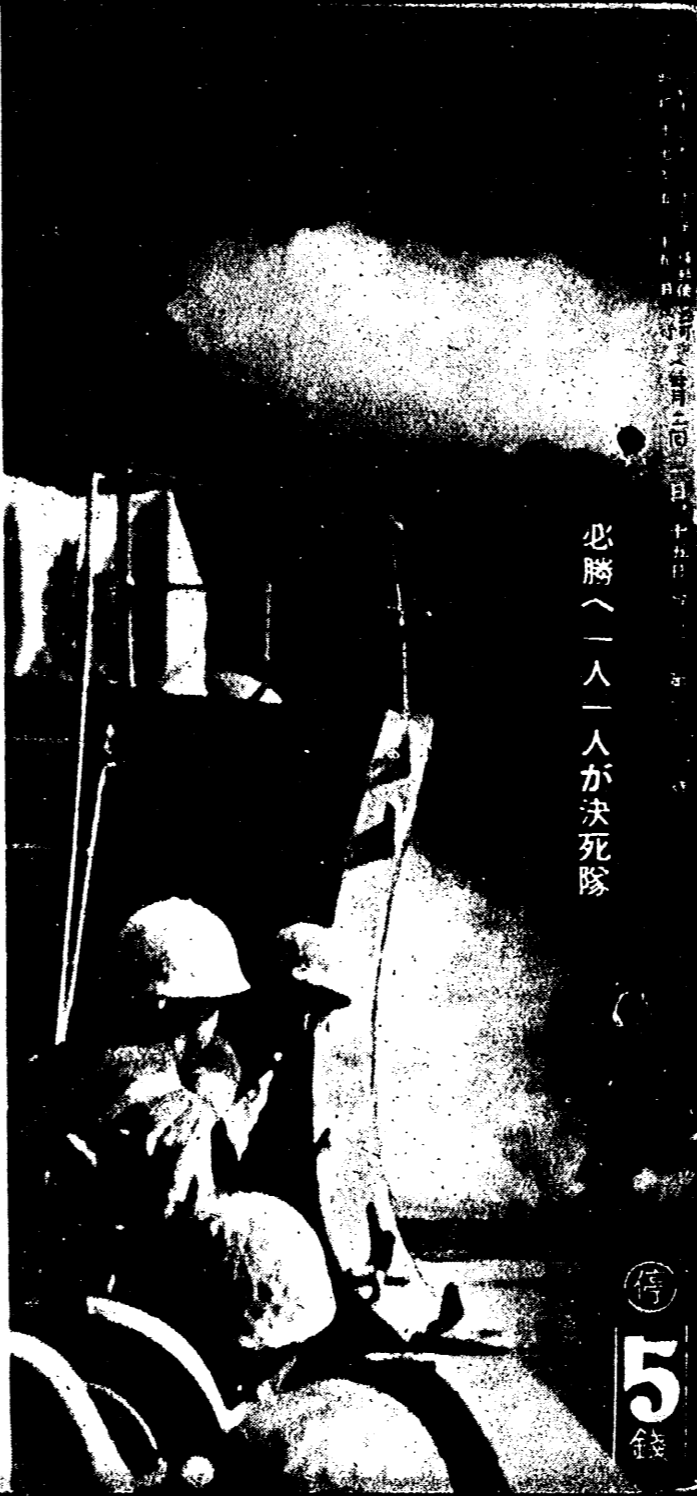


台灣總督府
情報課編輯

部報

空襲と敵の意圖
敵前上陸の夜
臺北保健館訪問記

號日五十月五



必勝へ一人一人が決死隊

停

5
錢

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

伝染病予防に 三共内服ワクチン

一日一回・三日の連用

内服ワクチンの利點
注射の如き疼痛なく、不快なる副作用を缺き内服により免疫を發現する

- チフス内服ワクチン 1人用、100人用
- 赤痢内服ワクチン 1人用、100人用
- 疫痢内服ワクチン 1人用、100人用
- コレラ内服ワクチン 1人用、100人用
(價格低廉)



東京市日本橋區室町三共株式會社
臺北市表町臺灣三共株式會社

我が本土初空襲と敵の意圖

情報課事務官 黒澤平八郎

宣傳の種切れに 悩むアメリカ

て遁走した敵機は果してどのやうな効果を狙つたのであらうか。彼等の抱く眞の意圖とその効果について検討を加へてみたいと思ふ。

ノース・アメリカンB二五型爆撃機約十機は我が嚴重なる監視の眼を潜つて四月十八日突如帝都に侵入、わが本土初空襲を行つた。同日さらに中部及び西部兩軍司令部管下においても空襲警報が發せられ、近畿地區の一部を僅少の敵機がかすめ通つてゐる。比較的困難を豫想された帝都上空への出現を敢えてし而も空襲史上稀に見る僅少な効果しか擧げ得ず、あわてふためい

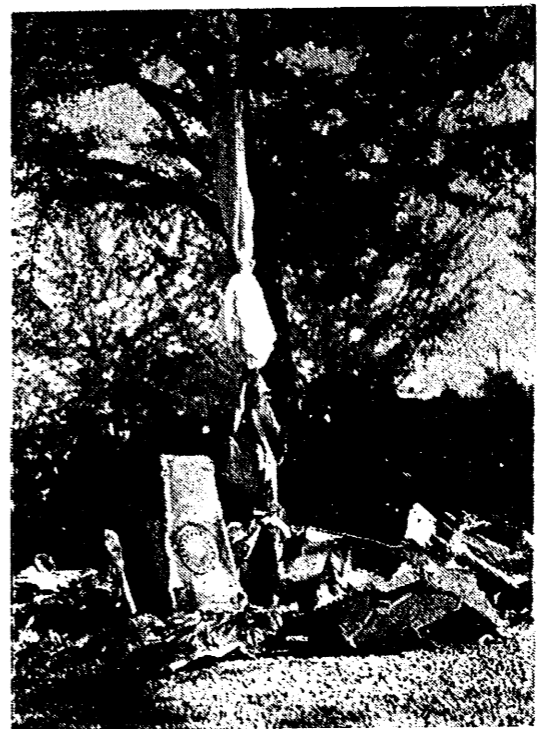
空襲の狙ひには普通相手國の物質的破壊と精神的打撃とが先づ擧げられ、それと並行して國の内外に對する武力宣傳が相當に重視される場合もある。アメリカはその何れに重點を置いたものであらうか。

この度のわが本土初空襲は自國民に對する中譯的意義と國外(反樞軸國及び第三國)に對する宣傳的意義を多分

目次 (五月十五日號)

- 我が本土初空襲と敵の意圖…………… 一
- 本島の民情は平靜…………… 黒澤平八郎…………… 一
- 流言の性質…………… 篠原鏡川…………… 一六
- 流言の原因…………… 三六
- 敵前上陸の夜…………… 原田芳幸…………… 三三
- 時局…………… 情報課…………… 二〇
- ビルマ作戦と蔣政權…………… 二〇
- 臺北保健館訪問記…………… 大窪六郎…………… 二七
- 保健館の概要…………… 二七
- 相談室を覗いて…………… 二八
- 乳児を訪ねて…………… 二八
- 法令…………… 二九
- 農地作付統制規則に就て…………… 二九
- 殖産局農務課…………… 二九

にもたせたものと見て差支なからう。



わが本土空襲を米艦隊の襲撃

事實アメリカ国内の一部には當時對日戦悲觀論擡頭し、爲に議論は沸騰し、ことにバタアン半島の失陥により、國民の失望感意外に大きく、政府はたゞへ糊塗的手段にせよ、何等かの方法によつて國民の不滿を抑へなければならぬ破目に陥つて居た。

ハワイ真珠灣の奇襲によつて、度膽を抜かれた米國民も、政府の宣傳に依つてその後一時平靜にかへつたが、二月シンガポールの陥落迫りその動搖は覆ふべくもなく國民は齊しく失望落膽した。かてて加へて三月初めジャバ沖海戦、バタビヤ沖海戦の英米共同發表

があり、いままでの政府の公表が大部分はデマであることを知つて大衝動を受けた。その間對内宣傳の主力を終始バタアン半島の戦況に置いた。彼は我が作戦を知つてか知らずにか、鳴物入りでその「奮戦」ぶりを讃へ、絶對不落を宣傳し、指揮官マックアーサーを英雄に祭上げ、辛うじて國民の不滿の爆發を抑へてゐた。

そのバタアンも攻略された。米國民が敗勢挽回に唯一の望みをかけてゐた光明の戦線が我が軍の總攻撃開始後僅々八日にしてもろくも潰えた。宣傳が大きければ大きいだけその反動もまた大きかつた。陸軍長官スチムソンに對する國民の不滿は爆發した。ニューヨーク株式市場は四月十四日には一九三七年以來五年ぶりの新安價に落ちた。最早手段は選んで居られない。空襲の常道などはどうでもよい。



わが本土空襲の襲撃を収容中の陸軍部隊

効果があらうがなからうが出来るだけ早い機會を選んで何等かの方法で一應國民に申譯をせねばならない状態に置かれた。實にわが本土空襲の動機もそこにあつたのである。

わが本土空襲の可能性

伊藤正徳氏が「世界大海戦史3」に述

べてゐるやうに、ハワイの大戦勝がなかつたら、東京も大阪も、その他の重要都市も、夙にアメリカ空軍の爆弾に見舞はれてゐたであらうとは識者の齊しく想像してゐる所である。更に日本の主力艦が、逆に敗北でもしてゐようものなら、少くとも南洋群島ぐるゐは米國のマリーンに占領され、そこを基點とする艦艇の活動によつて、帝國の國防は到底現狀の如きものではなかつたであらう。主力艦隊の勝敗と制海權の得喪とはそれだけの偉大なる作用を營むのである。現在のやうに日本の大艦隊が儼然として太平洋を固めてゐる狀況に於ても、また最早アメリカ海軍が艦隊決戦に於て日本海軍に對しては自信どころか牛車に向ふ蟻螂のやうになりさがつた現在に於ても、尙飛行機による奇襲と潜水艦による海上ゲリラ戦は當然あるものと豫期して常に之が對

應の覺悟を要するとは識者が叫びつゞけて来たところのものである。それが現實化されたのである。従つて同じ事情下に於て再來の可能性は多分にある。帝都にも、その他の重要都市にもそしてわが臺灣にも。

地圖の上で見る國境、それは航空機の發達した今日、少くとも戦時に於てこれのみが國境であるとは云ひ得ない。如何に嚴重な防備を施しても之を所謂國境線外に於て長期に亙り一〇〇%撃退し續けることは如何なる時代、如何なる國に於ても不可能であらう。去る二月二十四日には大島島(舊ウエー島)へ、三月四日には南島島へ敵機が來襲した時之を撃退したやうに、また四月十八日の未明本州東方洋上に出現せる敵航空母艦三隻をわが本土に近接せしめずして退却せしめたやうに、多くの場合敵をしてその目的を達せし

めずして之を退けてはゐるが。この點地理的事情は大分ちがふにしてもロンドンその他の重要都市に於ける防空施設と空襲の實況を見れば、その間の事情を知ることが出来よう。たとへば獨逸空軍基地の潰滅の不可能と獨逸襲來の可能性(蓋然性)を知つた英國は堅固を極むる防空陣地を構へた。

しかしドーヴァー上空の英側が「地獄の一丁目」と稱してゐる防空關門もドーヴァー海峡に沿ふ戦闘機の防禦や高射砲の布陣も獨逸の空襲からロンドンを絶對には守り得なかつた。獨逸は常にテムズ河に沿ふて一氣にロンドンに迫る。ことに夜襲に於てはそのコースを常に一定して居た。従つて對空施設も之に對應して萬全を期してゐたが、矢張り獨逸機は連續的に來襲してゐる。ベルリンも亦同様にドイツ高射砲の彈幕をくぐる英機を餘儀なく迎へ

効果の一・物質的破壊力

てゐるし、電撃を受けて一頓挫を來したソ聯空軍すらベルリンの夜空をねらつたものである。

大東亞戰爭勃發以後識者の間では、敵機がもし我が本土を狙ふとすれば、原則として小數の飛行機が比較的小型の爆弾と焼夷弾を積んで飛來するであらう。それは敵基地からの距離の關係上來襲機にいちどるしい制限を受けるからである。即ち爆撃機の攻撃力を倍加する戦闘機を隨伴することは不可能であり、また機種に就ては輕爆機は速力の點では有利だが、航續能力から云ふと問題にならず、といつて重爆機は航續能力の點では理想に近いが速力に於て難點がある。それに地理的關係か

ら見てロンドン重慶等に現はれるやうな大編隊ではあり得ないと云はれてゐた。その推定は正に當つた。使用機はノース・アメリカンB二五型、機數も十機内外で各地に一機乃至三機宛分散飛來、使用弾は若干の爆弾の外に焼夷弾を、而もその焼夷弾は二キロのもの

であり、その威力は何等恐るゝに足らざるものであつたといふ。しかし自爆を覺悟し、または投弾後捕虜となるのを覺悟の上で落下傘降下を決意して來れば復航の燃料も不要なら、爆弾も相當に積んで來られやうが、こんなことは到底アメリカ兵にはやり得まい。折角出て來た航空母艦がわが反撃を恐れ我が本土の近距離に迫り得ず、その後の條件の不利は承知の上で退却してゐるのを見ても、こんどの空襲に参加したアメリカ兵も結局「スポーツ精神」以上のものは持ち合せてゐなかつたこ

とがわかるのである。

空襲の目標は大都市、軍都、政都に置かれるのが普通であり、従つて軍事施設、軍需工場、港灣、通信施設等が物的破壊の對象となり得る場合が多い。

今回の敵機の攻撃は結果から見るとき、寧ろ之等を避けて病院、學校乃至は無辜の民衆を目標としてゐるかのやうにも思はれるのであつて、敵機によつて死傷せられた人々に對しては洵に御氣の毒に堪えないと共に、彼等の非人道的行爲は眞に許すべからざるものがある。先頃の病院船朝日丸爆撃事件により、このくらゐのことは彼等としてはやい餘ぬまいと思はぬではなかつたが、戦に武士道精神あることを解せず、また國際法規を無視して顧みず、國際的個人主義に終始せる彼等とは云ひな

から、打ちつゞく敗戦に如何に血迷てゐるかを物語るものゝ一つであらう。

敵機の投下した爆弾は僅かであつたし、また焼夷弾は六角柱二キロ焼夷弾で一機に二十箇乃至三十箇裝備されてゐたものゝ如くであり、それもエレクタロン焼夷弾で、中に發火劑テルミットが入つてゐたが、大して恐るゝに足らないものであつた。それに破防團隣組の勇敢な活動によつて忽ちにして消止め、被害を最少限度に止めたことは平素の訓練が充分である限り、焼夷弾恐るゝに足らず」の感を一層深めたものゝやうである。

以上述べたやうに責任當局者の推定といひ、また今回の敵機襲來の實際に徴しても、猫額大のドーヴァー海峡を挟むロンドンや陸續き而も近距離の空軍基地から受ける重慶等のやうな執拗

且大規模な空襲は原則として將來もわが本土には豫想されまい。然し後でも述べるやうに精神的打撃をも併せ狙ふ敵がいつも同一地方へのみまた同一方法で來襲するとは限らない。むしろその都度手段を變へ、新案を考案して來るものと覺悟せねばなるまい。今回の空襲は空地兩防空部隊の奮闘と國民の沈着機敏な動作によつて損害は僅少に止め得たが、防火消火の準備全からざるときは、焼夷彈こそ最も恐るべき破壊力の王座ともいふべきものである事に留意すべきである。我が國のやうな可燃都市ならざるロンドンでさへ、昨年五月十、十一日兩夜の爆撃では市内に廣汎に互る大火災を生じ、爆彈よりは寧ろ焼夷彈による損害はるかに大なりとも云はれてゐる。ことに將來消火に成功せざる地區に即ち火の手の上つた地區に矢繼早に焼夷彈の集中投下

効果の二・精神 的破壊力

近代戦は神經戦といふ面を持つ。それは軍隊内に對しても又銃後國民に對しても重視されてゐる。ガス彈の放射火焔放射器の使用等は前者を狙つたものであり、潜水艦のゲリラ戦による

商船の破壊、空襲の際の毒ガス彈、時限爆彈、發聲爆彈の使用、連続的夜間空襲による睡眠の妨害等は目標を後者に置いてゐる。

この精神力の破壊を狙ふためには、相手國の國民性は勿論政治、經濟、社會全般に互る一通りの智識を必要とするのである。例之、防空訓練は徹底してゐるか、自己没却の精神に富んでゐるか、空襲時に於ける群集心理を利用すれば社會秩序の混亂にまで誘導できるであらうか。非常の場合の市民の食糧管理は巧に行はれてゐるか、貯蔵所を破壊し物資の配給系統を亂し得るか等であるが、就中國民の精神力の強弱こそは知つておかねばならないことである。第一であらう、精神力旺盛なれば如何なる方法も結局徒勞に歸するであらうから、即ちこの種の研究に缺けるところがあれば今回の敵機襲來の如く我に

効果の三・自國 武力の對外宣傳

さうだが、相手がさう云ふ人道論を唱へるアメリカ人であるからである。

敵機襲來の直接の動機は既に述べた通りであるが、アメリカ國民にしても、反輻軸陣營にしても一應の申譯的意義にしか解してゐないやうである。増援すべき重要地點へも鶴首して待たれるアメリカ軍は到來せず、絶對不落を宣傳したバタアン半島も全く我皇軍の手に歸し、來襲當時袋の鼠、コレヒドール島も窒息を待つのみとなつてゐたのであるから、單なる空からのゲリラ戦としてしか取扱はれるに過ぎまい。これに依つて最近に於けるアメリカの國際情勢の著しい不利を好轉せしめんと望むが如きは雅戯に類する。英印會談幹

精神的打撃を與へるところか、之によつて一層敵愾心を強め、戦線、銃後の一體強化に無言の拍車が加へられ、正に逆効果一〇〇%ともなるからである。防衛陣についても亦、「一回の空襲は百回の訓練に優る」のとへを如實に示すことゝなつた。畢竟我が國民性を熱知せずして暴虎馘河を敢てしたに因るものである。

精神的破壊力行使の方法についてもロンドンやモスクワに見られるやうな戦術が今後採用されるとは思はない。一晚中地下室に鐘詰にされ、夜明前になつて漸く解除のサイレンが鳴り響くと一齊にレストランに殺到するといふやうなロンドン市民に對する睡眠妨害の新戦術も連續執拗な空襲でなければ効果はない。一週間も二週間も投下筒所への立入を禁止させ不安を繼續させる時限爆彈、無氣味な高音によつて恐

怖心を増大させる發聲爆彈、その他の特殊爆彈も手を代へ品を代へて使用し相手國々民の精神をクタククに疲勞させ業務から隔離し、ひいては生産力の減退をも招來するためには我が國のやうな地理的環境では思ふ處にはめ得られない。然し乍ら一律な空襲手段は次第に効果を減殺するので、如何なる新攻撃方法が將來案出されるかも知れない最も野蕃的行爲であり、非人道行爲であり、且あまりに効果的でないといはれる毒ガス彈と雖も使用されないと限定するまい。ヘーグに開かれた第一回國際會議の席上アメリカ代表アドミラル・マーハンが「人道的見地から云へば毒ガスの使用は大して残酷だといふわけにはゆかない。少くとも水雷を驅つて相手を溺死させるにくらべたら毒ガスで敵を窒息させる方がまだしも、ヒューマニスティックである」と云つた

旋の失敗、ヴィンシー政権へのラヴァー
ル氏の復讐、即ち佛蘭西の輻輳接近、米
太西洋岸に於ける船艦沈没の遞増、
對南米關係就中チリ、アルゼンチン
に對する米野望の實現困難等々枚舉に
遑のない第三國の對米不信回復の一助
とはなり得まい。否一顧の價值をも認
めてはゐないやうである。

防空即生活

「國防は國家の義務」であり、「防空即
ち國民生活」でなければならぬ。こ
の意味に於て交戰諸國は競つて防空施
設の完備、防空訓練の徹底に努め、防空
教育の普及を圖りつゝある。即ちドイ
ツでは中央・州・縣・市町村に分れて防
空學校が、而も人口三千人に就き最低
一ヶ所の設立が強制され、大學・専門學

校では防空が正科に置れてゐるし、ロ
ンドンの防空壕はその設備の點に於て
世界一と稱され、公共壕、地下鐵、鐵
筋コンクリート地下倉庫を併せて二百
萬の收容能力ありと云はれる。(獨逸空
襲の體験により家庭防空壕は効果薄く
市民は何れもこれらの施設に殺到する
のである)而も壕内の設備にも意を用
ひ、殊に地下鐵の如き慰安電車による
食糧の饗應があり、時には政府派遣の
音楽隊の來訪さへありと聞くのであ
る。またイタリーでは首都ローマを始
め全國主要都市では防空壕新設の必要
はなく、従来の各建築物は何れも必ず
地下室を備へて居るが、そこへ一糸亂
れぬ整然さで避難が行はれると云ふ。
問題のアメリカでは最初の都市防空と
も云ふべき防空警報と燈火管制訓練が
ニューヨーク市で一九三九年の十月十五
日に大々的に行はれるには行はれたが

各種施設の整備にとりかゝつたのは昨
年春以來のことであり、最近空襲の脅
威を身近かに感じ來つたので、沿岸要
衝に於ける常備防空監視所の設置、摩
天樓防禦對策、避難民處置、貯水池、
發電所、瓦斯タンクの保護、ニューイ
ングランド地方の婦女子、兒童用の防
空壕構築等をおもむきながら着々進捗しつ
ゝある。しかし獨伊英等に比すれば何
づれも急ごしらへの不完全なもののみ
である。

ふだんに計畫を樹て物的施設を準備
しておくことも勿論必要ではあるが
「時局防空必携」にも示されてゐる通り
「民防空」は軍防空陣から漏れた敵機に
よる爆撃の被害を最小限度に喰ひ止め
るためのものであつて、これには防空
精神の旺盛なることが第一要件であら
う。防空演習も單なる技術的訓練のみ
ではなく、全國民が「國土防衛の戰士

であることと名譽を充分に自覺
し、「捨身防空」へ精進し得る精神力を
鍛へんとする目的を有するものである
ことを忘れてはならない。國民的な霸
氣と戰鬪的精神が缺けてをるならば如
何に鐵壁の防空施設も甚かれた併でし
かないのである。

空襲は恐れてはいけない。と同時に
侮つてもいけない。ふだんに訓練し旺
盛なる精神力を養つておきさへすれば
恐れるところはないのである。

今回の敵機はその意圖するところの
半をも達成せず空しく退却したのであ
るが、油斷こそ大敵である。それは何
時、何處から再びわが本土へ、また濠
洲へも來襲するか判らぬといふことを
事實に於て示唆すると共に、ふだんの
訓練と挺身、敏速なる行動に出さへす
れば、何等恐るゝものに非ざることを
教へてゐる。空襲の恐るべきは市民の

動搖であり、それは第一次に於て特に
著しいことは交戰各國の例に見るも明
である。しかし内地は今回、臺灣は既に
昭和十三年二月臺北市松山及竹東の官
爆によつて兎に角經驗済みの筈である
孫子は「守則不足。攻則有餘」と云つ
てゐる。われに守りの足らざる謂は
ない。然し乍らわが本土と云ひ、臺灣
と云ひ四面は濠洲たる大洋である。而
も航空技術の發達は高空の飛行を許し
攻撃武器と防禦武器は共に重合の進歩
をなしつゝある。敵機の侵入を完全に
封ずることは不可能に近い。繰返して
云ふ。戰時下の國民としては何時、如何
なる場所へ敵機が來襲し來つて、如何
なる方法によつて攻撃しようもピクと
もせぬだけの備へがなければならぬ
い。敵の來らざるを待むことなく、我
が待つあるを待むの體制を速かに堅持
せよと云はれるのはこの謂である。

(昭一七、五、二)

日本香油

防ゲ!

スペース

守れ

臺灣

カモ美容クリーム

号津石・阪大

時局解説

ビルマ作戦と蔣政権

ビルマ公路を喪失 蒋介石の苦慮深刻

情報課

路を作り、晝尚暗い大密林を切り拓いて進まねばならなかつた皇軍の辛苦は、全く我々が想像することも出来ぬ位であつた。

一月十七日に泰領カウメイダイに侵入して来た敵を撃ち破つた皇軍は、この天嶮密林のシャン山系を突破してダヴォイを陥れ、モールメイン平野に下るや潮の如き勢で一舉に、モールメイン、マルタバン、ベグーと次々に血祭にあけて、三月八日首都ビルマに日章旗をひるがへしたのである。

このラングーン攻陥當時の敵兵力は凡そ八萬で、その中英印軍約三萬五千がイラワヂ河の流域に陣を布い

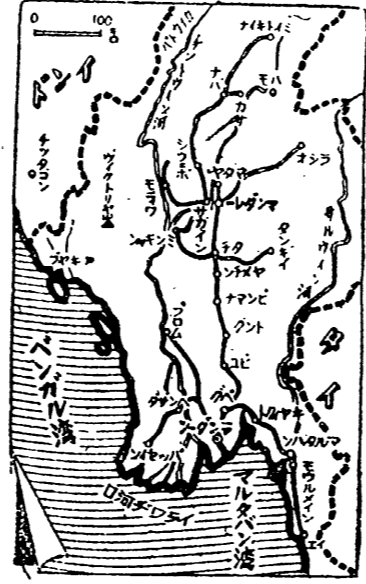
天嶮を突破した皇軍

今次のビルマ作戦は之を二つの段階に分けて考へることが出来る。即ち、ラングーン攻陥までがその第一期で、それ以後北部ビルマに於ける英蔣聯合軍の殲滅——マンダレー攻陥がその第二期作戦である。

第一期のラングーン攻陥作戦は、今まで全く人の通つた跡もないビルマ國境の大山岳——シャン山系を突破してモールメインに出で一舉に首都ラングーンを陥つたのであるが、敵は、この峻しい山岳地帯に、近代

が進撃して来ようとは夢にも思はず、國境附近には殆んど軍隊らしい軍隊も配備してゐなかつた。従つて、皇軍がこの作戦をやり遂げるにつれての困難は、敵軍を撃ち破るといふことよりも、むしろ千八百米といふ高さを持つこの峻しい山岳地帯の突破、克服といふ點にあつたといつてよい。

時局解説



てをり、四萬五千の蔣軍はビルマルトに沿つて續々と南下し、その主力をマンダレー附近に集め、三箇師團を北部泰國境附近に配置して居つた。皇軍

はこの蔣軍に尻を向けたまま、マンダレー攻陥に向つたのである。だから蔣軍にしてみれば、正に皇軍を襲ふには又とない絶好の機会であつた。果して蔣軍は、日本軍を潰滅するは今ぞ、とばかりに勇みに勇んで、その兵力をどんどんとマン

蔣軍にかけた

ところが、これこそ我が軍の作戦であつた。重慶軍がいつも用ひる戦術は、追はれるとどんどん逃げて行く、追撃を止めると又のこと出かけてくる——これが蔣軍オハコ

の退避戦術である。この戦術をとられると、我軍はいつまでも同じ地域に兵力を駐めておかねばならなくなる。そこで何とかして蔣軍を誘き出した上で、一まとめに叩き潰してやらうと考へたのである。

それとは知らず重慶軍は我が兵力少しとみ、又大兵をさう早急に北に廻すことは出来ないかと考へたので、今こそ——とばかりにラングーン、マンダレー間本道にどん／＼兵力を進めて来た。これに對して我が軍は少しばかりの兵力を以て泰國軍と協力し緩かな反撃を加へ乍ら、蔣軍の第四十九、九十三師を中心とする杜聿明の第六軍をビルマ國境附近に牽きつけておき、わざ

時局解説

と隙をみせ乍ら秘かにラングーシ地区に大兵を集め、一方新鋭機械化兵團を本道の後方に集めて、マンダレー附近にある敵第五軍との第六軍との中間を突破させる作戦を立て、じつと戦の時機が来るのを待つてゐたのである。皇軍危しとみえた情勢は逆轉しわが軍が擴げた網の中に、蔣軍が魚の様に集つて来たのだ。

トングー附近の戦

三月十日前後からラングーシ地区より逆轉、北進を始めた皇軍は、十九日敵機械化部隊の抵抗をうち退けてトングー南方八軒のビュを占領し、二十日にはビュ北方十五軒の地點で戦車を中心とする敵の大部隊を粉碎したが、これは重慶第五軍の一部であつた。三月二十二日には、トングーの前進基地オクトインに殺到し流石にこゝでは蔣軍も相當の反撃をなし、晝夜分たぬ激戦が行はれたが、我軍の空陸一體の攻撃によつて散々な目に遭ひ、二十四日午前九時皇軍は東西からのオクトイン市内に突入し、敵は自動車三百臺、迫撃砲

五十四門等多数を棄てたまゝで、トングー方面に敗走した。オクトインを攻略した皇軍は、一擧にシツタン河支流のカバグ河を渡り、二十六日の早朝には、ラングーシマンダレー間の敵の最大據點トングーの一部を奪取し、午前九時四十分には同市を完全に占領して了つた。この戦に於ける敵兵力は凡そ一萬一千六百、敵の遺棄屍體一千二百八十六個、皇軍は小銃百、機關銃二十四、迫撃砲四、自動貨車二十七、小銃彈四十一萬發其他多數を擧獲した。尙三月二十一日から三十一日までの間に陸軍航空部隊が

撃破した敵機數は百三機に上つてゐる。一方イラワヂ戰線では四月一日ブローム附近で英印軍第十七師及第一機械化旅團と遭遇してこれを徹底的にやつつけ、四月六日にはトングー北方約三十軒のエダツセ附近の陣地による重慶軍第二十二師に攻撃を開始し、午後九時半にはエダツセを完全に占領した。

三月十日から四月十四日までのこの方面に於ける戦果をあげてみると次の通りである。

- 交戦兵力 四萬乃至五萬
- 内重慶軍二萬五千乃至三萬
- 敵遺棄屍體四千五百二十

時局解説

四月十九日ビレナンを、二十日敵第五、六軍の連絡地點ロイコを占領するや、今まで鳴りをひそめてゐた突破兵團は、突

敵中突破兵團

一 俘虜五百 撃破敵機百二十
 兩獲品 戦車六十二、火砲三十七、重機八十八、小銃八百八十、自動車二百三十八、鐵道車輛四百四十九
 我軍戦死百六十一、戦傷四百二十九

如決然と猛進を開始し、全軍一齊にラシオを目差して、敵中突破に乗り出し、二十四日ヤメタンを、二十六日マンダレーより四十軒のサジを、二十九日の天長節當日正午には目差して来たラシオに突入した。

この中央突破戦術は神業の様な巧みさと水も洩さぬ用心深い準備の下に行はれ、一度開始せられるや、まるで真空の中に吸ひ込まれる様な、一日實に七十軒といふ速さでラシオ攻略に成功したのであつた。従つて事前この事を全然視ひ知ることの出来なかつた敵軍は、まるで、煮えかへる湯が覆つた様な大騒ぎで、こ

蔣の訪印失敗

に敵第五、六軍の連絡は完全に寸断され、敵が命と頼んだマンダレーも五月一日には完全に皇軍の手に落ちて了つたのである。皇軍の進撃、ラングーシ、マンダレー間實に八百軒であつた。更に五月三日にはラシオにもまさる援將據點バモを攻略し、五日にはその先鋒は雲南省龍陵を占領し援將路ビルマ公路は今蔣の命とりの公路となつた。

かして米英第三國を、支那事變の中に捲き込まねばならぬと焦つてゐた矢先へ大東亞戦争が勃發したのだから「我が事成れり」とばかりに、手を叩つて喜んだのであるが、その喜びは東の間、暫みにした米英が敗戦に敗戦を續けて、蔣政権は今までの唯一つの援將路ビルマルートさへも失はねばならなくなつたので、米英非難の聲が政府部内からも公然と放たれるやうになつた。そこで蔣介石はこのビルマルートに代はる印度ルートの新設を爲、又「反英印度」を「抗日印度」にふりかへさせる爲に、英米の手先となつて、二月末に印

時局解説

度に出かけ、ガ
ンデーやネー
ル、ジンナー等
と會談し、それ
に續くクリツプ
スの訪印の下準
備をしようとし
たのであるが、
クリツプスの對印交渉が完
全に失敗したことに照し合
はしてみても、この蔣の印
度訪問が全く失敗だつたこ
とが分る。

蔣ビルマに 復ふ

大體蔣軍がビルマに出て
來た目的はビルマルートを
持ち續け、その命を延ばす

ことにあつたのであるが、
之に反して英國が蔣軍をビ
ルマに出させたのは、印度
を守らんが爲であつて、英
と蔣とは最初からこの様に
全くその目的が違つてゐた
のである。だから兩者の間
に争が起るのは當然であ
つた。ビルマに進駐しては
來ても、名ばかりの抗戦し
か出來ない蔣軍の如きは、
始め英軍司令官の指揮をう
け、協力とは表面だけで、
むしろ邪魔者扱ひをうけて
ゐたのである。これに對し
て重慶側では不平を言ひ出
した。そこへ又米國が出し
やばつて來て、マンダレー
に英印緬將聯合總司令部を
おき、その總司令官に蔣介

石をあてたが、之も名ばか
りで、實際の力は、參謀長
に任命された米人スチルウ
ユル中將が握つて了つたの
である。従つて英蔣の仲直
りが出來たのは表面だけで
皇軍のビルマ作戦に遭つて
散々奪目に會ふや、又もや
その敗戦責任のなすり合ひ
を始めたのである。即ち英
軍側では重慶側が下手な作
戦をやるから敗けたのだと
云へば、蔣側では英軍は卑
怯、弱蟲の癖に何をいふ、
とばかりに言ひ返して收拾
がつかなくなつた。そこで

蔣の憂悶

蔣介石がこの争を緩和する
爲、又皇軍の印度洋作戦に
よつて折角もくろんだ援蔣
路としての印度ルートが實
際には役に立たなくなつた
結果、北部ビルマを自分の
勢力下において石油を確保
しなければならなくなつた
ので、最近又もヤノコク
とビルマに出かけて來たわ
けである。

ビルマ人口千六百萬の中
華僑が三十萬ゐるビルマの
産業の重要地位を占め横暴
を極めてゐたので、前から
ビルマ人はこの支那人に對
して憤りを感じてゐたので
あるが、ビルマ公路の開設
とともに、いろんな支那人
が流れ込んで來たので、ビ
ルマ人の憤りは益々高まつ

時局解説

た。そこへ蔣軍が出て來た
のであるから、ビルマ人が
仇の様に思つてゐる英國の
手先である蔣軍に對しては
ことごとく反抗し、反對に
進撃して來た皇軍に對して
は心からの協力をみせて東
亞共榮圏の建設に努力して
ゐる現状である。従つて蔣
のビルマ訪問は之亦失敗で
印度で振られ、ビルマで振
られ、あまつさへ今はビル
マ公路が反つて

命とりのルート
になつて來たの
であるから、蔣
介石の運命とそ
の苦しみは、自
分で招いたこと
とはいへ誠に哀
れな姿ではある。昔の苦し
みは斯うした外部からのも
のだけでなく、更に内部か
ら深められつ
ゝあるのであ
る。その最近
に於ける著し
い例は、蔣政
権の誤にあり
そをつかして
去る四月下旬
に、部下二萬
五千を率ゐて
汪精衛氏の中
華民國政府に
馳せ参じた孫
良誠將軍の和
平陣營への参
加事件であ
る。吾々は中



VITAMIN A+B+C+D=COMVITA

コンビタ

良い体を造れ!

お菓子の様に
のみよい小粒

★コンビタは、肝油(V.A.D.)と
V.B.Cとを綜合一丸した新發明
で、そのA.D.分は普通肝油の五十
倍以上の高單位です。

【毎日】 大人1粒 小児半粒
お買元 ノーシン本舗
東京 荒川長太郎合名會社

AC-45

惑ふこと勿れ・動ずること勿れ

流言蜚語は何所から生まれるか

去る四月十八日午後零時三十分頃、敵機又機銃の轟撃を細
差しようとか、米國海軍は、小艇にも、其の最新鋭を誇るノ
ース・アメリカン二五型約十機を以て我が帝都を襲撃し、非
武装地帯に身勢極まる官艦を加へ少数の市民を死傷せしめた
が、朝来の情報に依り、手廻ひいて待機へた皇國空軍の攻撃
するところとなり、その大半は立所に墜毀され、残る二三機
はほうぼうの塵で支那大陸方面へ逃走したといふ。彼得意の
航母集團作戦は又もや見事失敗に終つたのである。
此の報道を耳にせる吾々六百萬國民はまづ 皇居の御無事
を御喜び申上げ、又國土防衛の犠牲者に對して衷心より同情
の意を派し、然る後、のうのうとした顔つきで、敵ながら天
晴れ!などと冗談口をききこそすれ、誰一人として驚きあや
てる者はなかつた。頼もしくも亦心強いかぎりである。

「流言蜚語」といふ言葉の
持つ法制上の意義に就いて
は暫く措き、此所では一般
の用語例に従つて記述を進
めよう。「造言浮説」といつ
ても、又「搖言」といつても
構はないわけである。以下、
便宜上、單に「流言」と用ひ
る。

その性質

先づ流言の見本を御目に
かける。むろん、いづれも
假想例である。
「昨夜高雄に空襲があつて
若干の死傷者を出したさう
だ」
これは、誰が、誰に、何
所で、何時しやべつても、
その通りの事實が然るべき
筋から發表されてをらぬ限
り、眞偽の如何を問はず、
正しく流言である。では、
其の末尾へ更に一言「臺北
でも防空の用意を怠つては
ならぬ」と付け加へたらど
うか。やつぱりいけない。
いや、なほいけない。成程、
それに依つて一部の人々に
は有益な警告を與へ得よう
が、その尤もらしさは却つ

それにつけても、吾々は、海・陸・空の戰場に於いて彼此
々と離散を決するのならば兎も角、苟且にも、或は英米の常
套手段たる謀略の如きにしてやられ、或は又風聲鶴唳以て自
ら墓穴を掘るに等しい愚を敢てし、可惜千役の功を一番に缺
かざるやう、今後とも一段と心の緒を引締め掛かることを
夢裏にも忘れてはなるまい。敢て此所に「流言蜚語」の解説を
試みんとする所以である。

その原因

立てる力に在るといつてよ
からう。其の内容が事實で
あるか虚偽であるか、正確
であるか誤謬があるかは敢
て問ふところではないので
ある。尙、流言は、其の内
容が單純であらばあるほ
ど、又大衆の関心を惹き易
い事柄であればあるだけ、
より強い傳播力を持つこと
は、改めていふ必要を認め
ぬ。

流言は何所から生まれる
か。それは、一言にしてこ
れを盡せば、最初流言を口
にする人自身の心理状態か
ら生まれる。世上往々、戦
争、國際情勢の通説、各種
の變災、其の他の非常事態、
政治・經濟・宗教等に社會組
織の急激なる變革等を流言
發生の外的原因として挙げ
る者もあるが、これらの事
象は、寧ろ、流言の温床と
も稱すべき人心を、その發
芽及び培養に都合好き或る
状態に誘導する動機である
といつた方が妥當だと思ふ
但し、平戦時の別なく敵性

國家の間諜に依つて行はれ
る或る種の謀略乃至宣傳に
限り、これを外的原因とい
へぬこともない。何となれ
ば、間諜は常に、少くとも形
式的には既に完成された流
言の流布を意圖しつゝある
ものだからである。
尙、此所に注意すべきは
或る機縁に因つて或る人の
心に萌した流言の芽が、人
の口から口へ移し植ゑられ
つゝだんだん伸び且つ太つ
つゝ、遂に一人前の流言にま
で育成される過程は非常に
敏速であると同時に、一面
又甚だ曖昧模糊としてゐる
事である。巷間「噂の先ひろ
がり」といふ言葉があるが、
内容的にいつても、數量的

に観ても、流言の形成過程が正にそれであつて、何人に依り、何所で、何時の間にその形成要件が完備されたか、いひ換へると、爾後人は人数さへ獲得すれば、その内容に何等の發展はなくとも、社會に實害を與へるに至るものと認められる流言（實は、それ以前には、眞の流言と稱すべきものはない）を最初に口にした人物を後日追求することは殆ど不可能に近い。火が有つても無くても立つ煙の檢索に警察官がほと／＼手を焼いてゐる所以である。これに反して、謀略宣傳の爲の流言（それが最初から形式的に完備せることは既

に述べた）を放つた間諜及び其の直接承継者を檢擧することが比較的容易である事實は、流言形成の過程が頗る繊細微妙であることをよく物語つてゐると思ふ。では、流言は、果して、人心の如何なる状態に因つて生まれ、育くまれ、而して傳へられるのか。これは相當複雑な問題で、從來の所説も歸一するところを知らない有様だが、筆者一側としては、流言の發生並に傳播の原因たる心理状態を次の如く分類したいと思ふ。むろん、これらの心理状態は、その一つ／＼が單獨で作用する場合と、二つ以上が重複して作用する場合と

があり、又専ら發生の原因たるものと、主として傳播の促進力たるものとがあることを豫め斷つて置かなければならぬ。最も大きな原因は不安、恐怖（動搖、緊張といふ表現も亦屢々用ゐられる）の心理状態であつて、他の諸々の原因は、その多くがこれと結びつき、或はこれに轉化することなくして、流言を發生又は傳播せしむる力がないといつてもいい、ほどである。（一部の人が、これとは別個の原因として指摘する「希望」は其の實「確信なき希望」「過大な希望」の謂であつて、斯くの如き希望を抱く者は或る

事態の成行に關して常に、俗に所謂「愛すればこそ」の、無用の不安を感じることは世人のよく知るところである。結局「希望」は「不安」以外の何ものでない）尙、平素心中密かに希ふてゐる事柄と正反對の夢を見る心理を藉りて此の事を説明するものがあるが、非常に面白いと思ふ。次に重要なのは「無智」である。具體的にいへば、社會人としての自覺、皇民的信念並に國力に對する信頼感の薄弱なること、時局認識の不足、就中戰況に關する知識の缺乏——等々である。實例を挙げると、戦争ニュース映畫や提燈行列を

觀て、「新聞もラヂオも本當だつたのか」と感心した男があり、又歸還軍夫の忠告に従ひ、初めて公債を買つたといふ資産家もある。反省前のことが思ひやられる。蔣政権の宣傳には流石に乗らぬまでも、恐らく米英の強大を信じ切つてゐたことであらう。然し、これはまたまたよい方で、濟度すべからざるは文字通り無學文盲、何事についても全く事理を辨へず「雌鶏が雄鶏に變化したのは女を戰爭に出す前兆である」とか「電髪に虱の湧くのは戰爭嫌ひな神様の祟りである」などと、荒唐無稽の迷信を無批判で鵝呑にしてゐる輩であ

る。彼等は、如何なる啓蒙手段にも宣傳にも馬耳東風、容易に受け入れることではない。第三は「情報への飢渴」である。いふまでもなく、揣摩憶測を生むものは、充分な情報を賄はれぬ者の當然逞しくする想像であり、而して想像は、不安、希望、無智に伴はれていよく／＼事態の真相から遠ざかる。以上の三つを最も重要なものとして、此の外、尙數個の原因を數へることが出来る。即ち——

好奇心は其の一つである。いたづら心や虚言癖なども此の範疇に入れてよからう。流言を放つことの不得さを戒められて、「こんな騒ぎになると思はず、つい……」などと恐縮するものが此の類である。其二は、已に定見なくして輕々しく他人の言説に左袒する附和雷同性で、これは専ら流言の傳播に役立つ。客年の松山盲爆事件の時、眞先に馳けつけた人々の中には、此の種のものが相當に多かつた。

次に、人間は何事にも一應の意見を立て、これを唱導して己の智識を他に誇示する——俗に謂ふ「知つたかぶり」をする習性があるといはれ、これは主として流言の發生原因を成すが、時には全く反對の作用を營み、形成途上に在る流言の撃滅といふ手柄を立てる場合も絶無とは限らぬ。その人の持つ教養や智識の程度に依つてそれが分かれることはいふまでもない。其の四は饒舌癖であるがこれが他のあらゆる原因と結合して、流言發生の頻度、のみならず、傳播の方向及び速度をも増大することは殊更にこれを「オシャベリ」と訓するまでもなく明白であらう。以上述べた諸原因の中には、直接私利と結びついたものは一つもないが、最後に、己の利益を計ることを目的とし、且つそれが世間に流布されることを密かに

期待して流言を放つたといふ、敵の謀略にも増して憎むべく恐るべき事例を紹介して此の項を結ばう。尤も、當人が治安の攪亂を豫想してゐたかどうかは判明してゐない。即ち、某炭鑛主は、多数の鑛夫を比較的有利な條件で傭ひ入れることを意圖しつゝ、人を使つて「空襲の時は市街地が一番危険だ。今のうちに村落、山麓地方へ避難した方がよい。炭寮へ行けば一番安全で、仕事もあるから一舉兩得だ。俺が世話をしてやつてもいい。」と流布させたといふのである。

その害悪

流言の流言たる所以は、それがいつまで口舌の範圍に止まらず、轉て個人又は群衆の實生活面に反映し、彼又は彼等をして、社會の治安を紊り、その福利を阻害するやうな行動を執らしむるに至る點に在る。むしろ、流言に唆かされての妄動は社會惡の全般に互るわけであるが、此所には、最近の實例に徴してその四五を摘記するに止めよう。

○ 大東亞戰勃發當時、東京に謠されたる臺灣情報に曰く「前進基地とし警備並に治安萬全にして、本島民も極めて平靜なり」と。むしろ今日の状態は遙かに進んでをり、流言の如き、樂に

したくも殆ど聞かれぬ。然しながら、戰端を開いて僅かに四箇月、大東亞の全域を殆ど餘すところなく戡定せる皇軍の赫たる大戦果を眼のあたりにして、戦局の將來に危懼を抱くが如きものは、日本人ならばよもや一人もあるまい。戦局の見透しがついての、漫然たる安心感に基く民情の平靜に非ずんば眞に幸である。

志能 鐺川

馬 來 戦 記

敵前上陸の夜

白鉢巻の勇士に萬感こめて決別の挨拶

幸 芳 田 原 南 道 報 方 道 報 渡 部 隊 軍 班 長

私達は昨年の十二月十八日臺北を出發して以來、南方派遣軍報道部録音班としてマレー作戦に従軍した。シンガポール島へ第一次の敵前上陸が敢行された二月八日、その勇士達と歩いた十數分間の感激を日記の一篇より書き誌すことにした。

午後八時三十分、再びマ林の中を出た宣傳班の連絡所にはもう櫻井少尉以下二三名の兵しか残つてゐない。報道員も寫眞班員も各

社の記者連も夫々勇躍して渡河部隊に従軍してしまつた後だ。天幕やトタン屋根が淋しく残つてゐる。密林の小徑は細くてデコボコ

が多く、密生した樹木や雑草に包まれてゐる。文字通り鼻をつままれても判らない程暗い。一條の光のこぼれさへない漆を塗つたやうな眞の闇、耳を澄ませば蟲であらうか鳥であらうか悲しい一聲だけがすがすがしく叫ぶ。すぐ足下からバツと羽音をたて、飛

び立つた鳥に驚かされる。頭上に覆ひかぶさるやんな名も知れぬ木々は風もないのに時々騒ぐ。宛然無數の夜光蟲でもくつついたやうに不氣味な光を發する木がある。兵隊さん達は光る木と名付けてゐると聞いた。こんな木はマレー半島の到る處にあるさうだ。地上ばかりを見てゐたのでは全く歩行が捗らない。まるで手探りで行くやうだ。道の横を直徑二米位もありさうな眞黒な鐵管が走つてゐる。シンガポールの敵軍や住民が命の綱と頼んでゐた水道管なのだ。この水道管を逸早く皇軍が押へてしまつたことが、敵の運命を早





陸軍省検閲所(同盟)

ルバシーバ官令司軍英せ伏降と官軍指高最下山がわけるけに場工ドーオフ外市島南昭

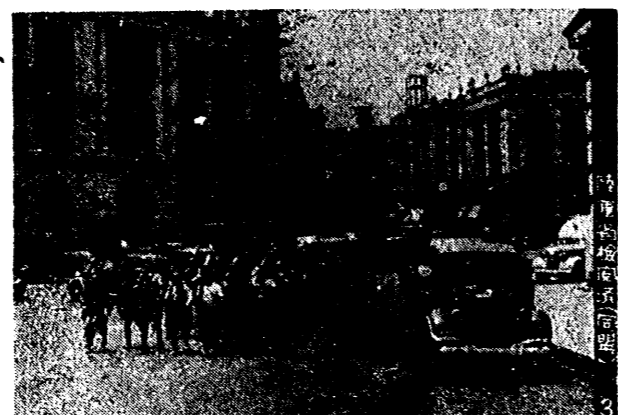
めた結果となつたのである。

「こんな時には空を見て進む方が良いでしょう。」と佐瀬兵長がをしへてくれた。成る程前方の空を仰ぎ乍ら進むと方向の見當がつき歩行が捗る。月一つない空がぼろりと明るく、遠くの地上が薄ぼんやりと白んで見える。「どうです」と佐瀬兵長が得意さうに云ふ。皆が感心したやうな顔を後に振り向けた。又一つ貴い體驗と知識を得た。佐瀬兵長は千葉縣の産、東金高女の教諭で剣道五段の猛者である。

やつとジョホール街道へ出る。道は急に豁然と開け、

視界もや、廣くなつたが、それでも十數間先の何物をも識別することは不可能である。道路の左右は濕地帯らしくマングローブの疎林が続き、處々に雲をつく大入道のやうに椰子の木が立つてゐる。民家も點在するが燈火は一際洩れてゐない。其の多くの家は無人なのだ。住民は全部後方へ避難してしまつてゐる。

今宵は星影一つなく空は黯黒としてゐる。今にもあの沛然たるスコールがやつて來さうな氣配がする。此の二日ばかり晝も夜も一滴の雨もないので、或は今夜あたりは一雨來るかも知れぬ。



軍泉る寸准行を場廣スルフツラ・上下
兵國英たれさを除解裝武

遠雷のやうな砲聲が空に轟く。武装した〇〇兵を滿載したトラックが幾滾となく續いてゐる。彈藥や渡河資材を積んだ無数の車輛が

突風の様に傍を過ぎ去つた。装甲自動車や戦車が闇を揺り動かして暴進する。よくもこんなに行るものかと思はれる程の數だ。それ

らはすべてシンガポール攻略への熱風となつて飛んで行く。道の處々は我爆撃、砲撃で眞黒な大きな口をばつくりと開けてゐる。橋とい

ふ橋は殆んど敵が退却に際して破壊し去つてゐるので、工兵隊の手によつて假の橋が架けられてゐる。交通整理の兵隊が赤い小さな信號燈を打ち振つてゐる。五六間先きもう見通しがきかなくなつた。後から後からと續く車輛はもうろん、ヘッドライト一つつけてゐない嚴重な燈火管制を行つてゐる。

非常な危険を伴ふが、整理兵の手によつて整然と處理されて行く。一瞬の停滯もいさゝかの油斷も許されないのだ。闇の中にすべてが張り切れさうな緊張と綿密な注意の下に運ばれて行く。



上・島根の皇軍部隊
下・皇軍の降参し英兵

「橋ぞ」氣をつける車
が徐行する「後へ退るなぶ
つかるぞ」腹の底にしみ通
るやうな絶叫が闇を貫く。
軍需品を卸した空車が後

方へ疾驅する。
目的のイスタナ（サルタ
ンの王宮）迄は未だ數キロ
あるだらう。闇の道は思つ
たよりも遠い。今更乍ら自

動車を残して来たことが悔
まれる。何時の間にか仲間
の者とはぐれてしまつた。
私の横を眼前をいくつかの
徒歩部隊が、ジョホールへ

ジョホールへと颯々と風を
切つて過ぎて行く。將も語
らず兵も語らず。
そして物音一つたてられ
てゐない。足音さへもしな
い。救命胴衣はびつたりと
兵の脊にくっついてゐる。
時々〇〇や帯剣が擦れる。
それも耳を澄まさないけれ
ば聞えない位僅かな音だ。全
てが無言の塊となつて漆黒
の闇の中に渦を捲いて吸ひ
込まれて行く。

これぞ一國の興亡を負つ
て、個々の生命を空しくし、
一挺の銃をしつかと握りし
めて只ひたすらに敵陣に躍
りこまんとする第一回敵前
上陸の勇士なのだ。生も死
も超越した尊い姿なのであ

る。勇士等の胸底には今や
何物もない。唯進るは如何
なる困難をも克服し、如何
なる頑敵をも撃砕してシン
ガポール島へ上陸すると云
ふ燃えあがる様な攻撃精神
と必勝の信念丈である。
大東亞の歴史を一變する
決死的敵前上陸は數刻の後
に迫つてゐる。緊張ともし
あがる興奮とで勇士等の顔
はやゝ蒼白味を帯びてゐ
る。然しその足は一步一步
と力強く大地を踏みしめて
行く。マレーの大地にしづ
かと足跡を印して行く。

満ち／＼とゐる。脈々たる
緊迫感が胸をうち、感動に
眼をうるませながら勇士達
を見送つてゐた私は、たま
らなくなつて飛び出して行
つた。そして部隊の切れ目
から、或る部隊に沿ひ乍ら
共に歩いた。歩きながら無
中になつて隊長に種々話し
かけた。今宵の此の感銘を
永久に私の胸の奥底に秘め
ておきたい。是非部隊名を
お聞かせ願ひたい。私は總
軍報道部員です。發表の時
期が来る迄決して外部へは
洩しませんから」としきり
に云つた。隊長は傍の若い
下士官と何事か相談してゐ
たが、應て低い力強い聲
で「吾々の隊は獨立〇〇〇

〇〇〇〇である。」と教へて
くれた。私は闇の中にとり
出した手帳にはつきりとす
ばやくそれを書き留めた。
勿論紙の色さへ見分ること
の出来ない暗さだ。だが手
探りで書いた九文字こそ、
私の魂を書いたものだ。後
刻燈火の下で開いて見れ
ば、鏡筆のあととも黒々と、
聊の亂もなく獨立〇〇〇〇
〇〇〇とはつきりと記され
てあつた。

のだ。一瞬はつと隊形を建
て直した勇士達は、何事も
無かつたやうに又肅然と行
く。渡河點にも二キロ位の
近距離に迫つてゐる。夕刻
の参謀の話から推察して、
今宵の敵前上陸はスクダイ
河口王宮の下とスクダイ河
對岸から決行されるらし
く、然もその時刻は明九日
の拂曉にかけてと思はれ
る。間斷なき味方の砲聲が
次第に近くなる。

この九文字こそ、私の從
軍手帳に、否心のメモに永
久に記し残されてゐるので
ある。

「敵前を忘れたか」突如隊
長の口から鋭い一聲が迸つ
て。隊列がちよつと亂れた

私は靜かに隊列から離れ
た隊長や兵達に訣別の挨拶
をした。萬感をこめて「御
大事に」と云つた。咄嗟に
こんな簡単な言葉しか出な
かつた。そして手を合せて

成功を祈り、無事を願った。夢中でしつかと手を握つてくれる兵士もゐる。あゝ私は今只神にすべてを祈りたい氣持で一ぱいである。隊長も無言で手をあげた。その眼は爛々と輝いてゐた。若い元氣な下士官が「では行つて参ります。」と私に舉手の禮をしてくれたとき、はつと胸をつかれて言葉を知らず、激しい言葉は只意味の判らぬ聲となつて散つてしまつた。遠ざかつて行く軍靴の音を耳にしたがらいつまでも勇士の鐵兜の下の白鉢巻丈が私の網膜にくつきりと浮んでゐる。

幾人もの兵達をちつと見送る私の目頭には涙が滲み胸中には只武運長久を祈る念のみだつた。前方の空が明るく、夕燒雲のやうに眞紅に染つてゐる。ジョホルルの岡も近いサルタンの宮殿もおぼろながら闇にその姿を浮きあがらせて來た。晝間見たあの一幅の繪のやうな美しさに引きかへ今宵見たその姿は怪奇な巨大な魔物の様である。砲聲はますます熾烈となつて來た。我軍砲が夜の大氣を打ち震はせて唸をあげてゐる。敵前上陸への援護砲撃が開始されたのであらう。我一發々々に對岸の敵據點は次ぎ次に其の姿をかへて行くのだ。否世界の歴史が變つて行くのだ。

今こそマレー作戦の掉尾な飾り、世紀の運命を決する大鐵槌は下されたのである。斯くて作戦は最高潮に達し、新嘉坡の運命も既に決し、同島死守を豪語した敵の狼狽振りも想像に餘りがある。テング一飛行場や軍港の火勢は次第に猛烈となり、めら／＼と立ち上る煙は天に沖し

臺灣軍報道部 檢閱済

臺北保健館訪問記

乳幼児と母性保護 保健婦の家庭訪問



小兒科の健康診断

— 赤ん坊の泣聲 —

赤ちゃんの元氣な泣聲が聞えて來る。赤ん坊の泣聲といふものは、いつ聞いても壯快でよいわいと微笑みながら「財團法人臺灣保健協會臺北保健館」と書かれたあるまだ木の香も新しい看板を横目でチラとみて中へ入つた。

ところが、私は大せいの赤ちゃんが一度にありつた

文・大窪六郎
眞高・影山鶴雄

けの聲をはりあげてわめきちらしてゐる中けいきなり飛び込んだとき、如何に精神を錯亂させるものかといふことを初めて體驗したのである。壯快などといふそんな生やさしい言葉はこの場合當てはまらない。とにかく私は完全に赤ん坊の泣聲に壓倒されてしまつた。だが私はことさら平氣な顔を装ふて受付にゐる若い女の人に刺を通じた。彼女は

この騒然たる中に、まるで耳のない人の様に悠々として、

「どうぞ、こちらへ……」

と先にたつて私を二階へ連れてゆくのだつた。

白いベッドの置いてある一すみでは診察室のやうなこじんまりした三室の相談室を通つて事務所へ入つた。

「相當なもんですな」

私は案内された室非事務長の前へ来ると挨拶もそこ

く／＼に思はず云つた。

「初めは仕事に手がつきませんでしたよ。いまでは何とも感じませんがね……」

とこれまた聴覚神経のない人の如く平然としていつ

た。私は馴れるといふことはなるほど恐ろしいものだと、つくづく感心させられた。

— 保健館の概要 —

そも／＼この保健館とは如何なる施設か——この臺北保健館の保健婦が、ある家庭を訪問した。ところが奥から出て来た奥さんは、

「保険はもうたくさんですよ」

と剣もほろろの態度で、若い彼女の自尊心を大いに傷つけたといふ。

この保健館の何たるかを御存知ない人たちがまだあつたらしい。

この種施設は内地で既に

保健所法に基づく保健所、

結核豫防対策の一として設置されてゐる結核豫防換地

地区、或は健康相談所などの形で整備されつつあるが

本島ではこの臺北保健館が全く初めての施設で、その特徴は内地に於ける各種施設の長所を執り、総合的計畫の下に十分の効果を挙げべく立案されたといふ點である。

この保健館の使命とする

ところは、一定地域内の住民（現在は末廣町、築地町、西門町、壽町、京町、榮町、若竹町、新起町、老松町、大和町の住民約二萬四千五百人が選定されてゐる。ごんな結構な施設なら全市民

に及ぼすべきではないかと

考へられるが、そこはそれ經費、陣容などの都合でおいそれとはいかないのであ

る。の衛生上の良き相談相手となり、病氣に罹らないやう絶えず監督指導し、これを護つてゆくといふことであるが、當分の間は先づ對照を結核撲滅及び乳幼児母性の保護に重點を置いて保健相談に、保健婦の家庭訪問に活動して、將來は本島各地にも普及されるであらう保健所の指導運営の指針たらしめんとするものである。

要するにここは病氣に既に罹つてゐるものには用がない。健康者が將來もなほ

健康を持續し、體力を向上してゆくにはどうすればよいかといふことを正しく教へて貰へるところだと思へばよいのである。

— 相談室を覗く —



家庭相談手保健婦の訪問

相談室からにわかにかん高い泣聲が聞えて来た。いよ／＼小兒科の保健相談が始まつたらしい。同じ相談でも小兒科が最も手をやくやうだ。しかし囑託職員は音楽でも聞いているやうなき

はめて穏やかな面持で頭から湯氣をたて、暴れ廻る丸々太つた赤ちゃんを診断してゐる。

保健相談は小兒科以外に内科、産婦人科、皮膚泌尿科の三科があり、専任技師牧野雄七郎博士（内科）以下、村上勝美博士（小兒科）補信義博士（内科）秋間泰造博士（皮膚泌尿科）蛇名勝四郎博士（産婦人科）の臺北帝大助教授である四囑託職員が従事してゐる。いづれも研究心の旺盛な若い人達ばかりで、みるからに頼もしさを感じる。

設備も堂々たる醫院位のものを持つてゐる。この陣容でこの設備、そ

してすべてが無料といふのだからこんな結構な施設はない。一刻も早くこの施設を臺北全市にいや全島に普及されたらと思はずにはゐられなかつた。

しかし臺灣は人口の割合に醫者が多い。しかも限地開業醫といふ制度があるので、「醫者のない村」といふのが比較的少い。この點内地に比べれば非常に恵まれてゐるわけである。

ここで少くも数字を列べてみる。

この保健館が看板をあげた昨年十月十五日から本年三月末日までの利用者数は内科が一、〇四三名、小兒科が八〇四名、産婦人科が九

二名、皮膚泌尿科が三八名、計二、二〇二名、うち本島人が二二六名で、總數の一パーセント弱にしか當つてゐないのは區域の關係によるのであらう。

元來ここは健康者を對照としてゐるのであるが、病院にかけつけるべき病人が四割位來てゐるといふ。特に貧困者に多い。これらの醫者にもかかれぬやうな可哀さうな人たちに對しては適當に處方箋も書き、必要とあれば注射もうつといふ同情ある處置をとつてゐる。

— 優れた保健婦 —

白襟をつけたコバルト・

ブルイの瀟洒な夏服を着たみるからに新鮮な感じのする女性がお茶をもつて來た。「いまのは保健婦さんですか」

「さうです」
私は事務室で机に向つて一心に何か仕事をしてゐる四五人の若い女性をみた。いづれも白襟をつけたコバルトブルーのお揃ひの服を着てゐる。保健婦さんの夏の制服だ。冬は黒服ださうである。
「現在保健婦さんは何人おますか」
「十二人ゐるのですが、そのうち二人は東京へ勉強にいつてゐます」

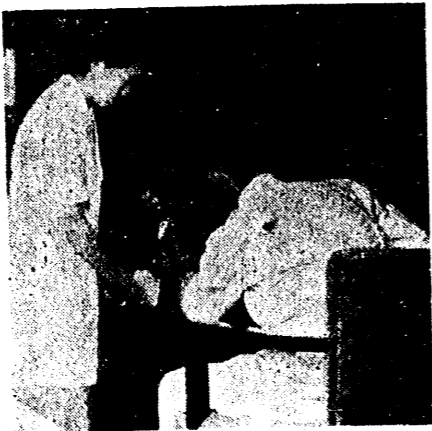
彼女たちは看護婦及び助産婦の免状を持つてゐるが、更に東京の講習所で數箇月勉強して保健婦としての資格を得てゐるのであつて、「看護婦さん」や「産婆さん」より一歩進んだ階級にある。だから彼女たちに對しては「先生」と呼ぶべきである——といふことを室井事務長は強調してゐた。

彼女たちは世帯數三〇〇戸乃至七〇〇戸、人口五〇〇人乃至四、〇〇〇人を夫々擔當してをり、毎日午後からこれらの各家庭を訪問してゐる。もちろん全部にわたつて廻つて歩くわけではない。警察派出所、隣組、方面委員などと連絡をとり

受持區域の妊産婦、乳幼児の養護指導は勿論、結核又は各種傳染病要注意者、疾病者に對して實地にこれが療養などについて指導し、家庭の良き相談相手となつてゐる。

この保健婦の家庭訪問が多くの人々に如何に利益してゐるか、一例をあげてみよう。
母乳を與へてゆけば十分發育することが分つてをりながら、母親から乳が出ないため、發育不良でやせかけた可哀さうな乳兒があつた。この家を訪問した保健婦は正しい人工養育のやり方を指導して歸つたが、あつた日乳が出すぎて弱つてゐる

る母親を發見した。彼女は大喜びで「乳をもてる母親」に事情を話し、「乳を持たぬ母親」の乳兒に母乳を分け、て貰へぬかとたのんだ。もちろん「乳をもてる母親」はもてあましてゐる乳なので日に三回お分けしませうといつた。それから毎日母乳



定測量體と斷診

を與へられるやうになつた「乳をもたぬ母親」の乳兒は、日に「健やかな發育」を振り示し、いまでは「乳をもてる母親」の乳兒以上に健康になつたといふ。

— 乳兒を訪ねて —

最後に保健婦の活躍振り

を彼女たちの手記から二、三拾つてその一端をうかがひ、この訪問記を閉ぢることにしよう。

◆ T 保健婦

八箇月の早産で、生れたときは五百匁しかなく、現在は七箇月になるのだが、標準よりは完全に二、三箇

月發育の遅れた乳兒があつた混合養育なので、母親に是非保健館へ來るやうに進めたがどうしてもみえない女中を置いてゐるほどの家庭なので、無料相談などと敬遠したのかもしれないと思つてゐたが、その後度々訪問して話し合つてゐるうちに、さうでないことが分つた。實はあまりに發育不良で弱々しい兒だから醫者にみせるのが恥かしいといふのだつた。私はその考へが如何に馬鹿／＼しいことか、そして乳兒のためにもそんな考へは捨てるべきである。乳兒が可愛いなら正しい養育法をとらねばならぬ。と色々力説したおかげ

でやつと母親は納得したらしく次の相談日には必ず保健館へゆきますといつてゐた。この日私がこの家へ入つたのは臺所からだつたが、歸るときには私の靴が立間に並べてあつた。

◆……M保健婦

私の受持区域は他地區に比して本島人が多く居住してゐるが、彼らの乳児の殆んどが、混合、人工養蚕で育てられてゐる。又母親たちの育児智識のないことは全く驚く。ミルク使用者では煉乳を使用するものが多く、しかも殆どすべてが、いいかげんに薄めて與へてゐる。つまり質より量のこ

とばかり考へてゐるのだ。乳児訪問は皆よく歓迎してくれる。いやな顔をするものは全くないといつてよい。ミルク使用者や離乳期にあるものは訪問を待つてゐるくらいである。

最近にあつたことである。ある本島人の家を訪問した。現在生後二箇月の男児がゐるのだが母乳不足のため自己流でビオスマールを一日三—四回のませてゐるといふのだ。私は何といふ目茶なことをするのであらうと驚いて、何故粉乳を用ひないのかと尋ねると、ビオスマールなら証明書がなくても貰へるとの返事だつた。

この母親はビオスマール

の成分を知らず、ミルクと同じものだと思つてゐたらしい。もしもそのまゝ續けて飲ましてゐたら、どんな栄養障害を來たしたか知れない——と思ふと慄然とせざるを得なかつた。

私は早速派出所へミルクの配給券を請求するやうなため、翌日再び訪問したら、配給券を貰つてゐた。その後度々訪問したが、乳児の發育は非常によく、みちがへるほど太つて來た。

◆……S保健婦

家庭訪問により私の見出したなかに朝配達された一本の牛乳を晩まで與へてゐたといふのがあつた。

その母親は四十四歳で、

こんな年になつてから子供を生むなんて恥かしいといつてゐた。

乳児は豫定より一箇月近く早く生れた故か、とても小さい。母乳は十分でなく、しかも母親は十三年越しの脚氣で、乳児も可哀さうに脚氣になつてをり、ともに治療を要する状態だつた。

生活状態はあまり豊かではなく、醫者にかゝつて注射をうつのも容易でないらしい。いろ／＼と聞いてゆくうち、朝配達された牛乳を夜までのましてゐるといふ。私は時間の経つた牛乳の如何に危険であるかを説明し、一日に二回とるやうにいつたが、さうも出來ぬ



付受の館健保北臺

やうだ。仕方がないから朝だけ一本とつて、乳児に與へた残りば母親がのんでしまふやう、そして晝は粉乳にするやう指示した。

ところが、母親は、

「隣家の主婦が、粉乳よりも煉乳の方がいい。自分も煉乳の中に少し鹽を入れて與へたが、とても太つて丈夫になつた。煉乳にしなさいとしきりにすすめる。」

「隣家の主婦が、粉乳よりも煉乳の方がいい。自分も煉乳の中に少し鹽を入れて與へたが、とても太つて丈夫になつた。煉乳にしなさいとしきりにすすめる。」

と尋ねる。私は愕然とした。

鹽を入れると太るのではない。體が腫れて來るのであつて、乳児に恐ろしい結果をもたらすやうになる。とよく説明したらはじめに納得した。

その後、乳児は風邪や中耳炎などに罹り、益々やせてゆくので、母親はすつかり氣を落してしまつたが、何かと勵まし、醫院にすつと通はせた。最近再び訪問したところ、以前とは全く變つて顔色もよい丈夫な乳児になつてゐたので、私は非常に嬉しく思つた。

◆……O保健婦

子供四人に祖母とそれに夫婦の七人暮りで、主人の一日一圓をこゝの收入で食へぬかねばならぬといふ甚だ氣の毒な家庭を訪問した。

生後七日目の乳児を抱いた母親が初めて逢ふ私に、家計が苦しい爲に國民學校にいつてゐる三年生を退學させたといふ家庭の内情までかくさず何もかもさらけ出して話すのだつた。

乳児は割に大きい。母乳不足の爲、煉乳をそれこそただ甘味があるといふ位に薄めて用ひてゐた。このやうな生活に苦しんでゐる深刻な場面にぶつかると、どうしてよいか分からなくなる。金があれば……と自分の無力が恨めしくなる。

農地作付統制規則に就て

殖産局農務課

法令解説

五月一日附官報を以て公布せられた農地作付統制規則は重要農産物の生産を確保し更に之が増産を期する爲に制定せられたものであります。

時局下重要農産物の増産を奨励し、其の生産を確保することの緊要性に就ては言を俟たぬところであり、この目的を達する爲には自然力は勿論、其の他努力、畜力、農機具、肥料等種々の問題が存在するのであります。就中農産物生産の母體である農地を適正に管理するこ

とは一番根本的な重要問題であります。昭和十五年二月公布せられた臨時農地等管理令は此の爲に制定せられたものでありまして、左の三つの手段を擧げてゐるのであります。

- 一、農地潰廢の防止
- 二、空地閑地の利用促進
- 三、作付の統制

此度公布せられた農地作付統制規則は右の臨時農地等管理令の内の(三)作付の統制を目的とした條文を根據として詳細な規定を設けたのであります。以下其の内容の大略を説明致します。

重要農作物を作付した農地には今後それ以外の農作物の作付を原則として禁止する

昭和十六年三月一日以後、農務總督の指定する重要農作物(稻、甘蔗、甘藷、麥)を作付した農地には、今後は原則として重要農作物以外の農作物を作付することが出来なくなりまし

た。併しこれに就ては二つの例外があります。その一は、農務總督の計畫に基づき行政廳か或る農作物の作付割當をした場合で、例へば黄麻、苧麻等を割當せられたならばその農作物を重要農作物を作付した農地に作付しても差支へありません。その二は

制限農作物の作付を重要農作物の作付に轉換

次に掲げるやうな農作物を放置して置くことは、耕作者は勿論、國家にとつても甚だ遺憾なことでありますから、かういふ作物を重要農作物の作付に轉換

せしめる必要が起るわけであり、ます。臺灣總督は其の指定する制限農作物(茶樹、香水茅、煙草、果樹)の作付を重要農作物の作付に轉換させる必要を認めるときには、州、廳毎に作付轉換計畫を定め、之を各州知事、廳長に通知します。この通知を受けた州知事、廳長は、市郡毎に作付轉換計畫を定め、之を市長、郡守に通知します。通知を受けた市長、郡守はその作付轉換計畫に従ひ、作付を轉換すべき制限農作物の種類と面積、その農地に新たに作付する重要農作物の種類、面積等を定めてその農地の耕作者に指示するのであります。

つてうまく行かないときには、市街庄長は小作料統制令第四條の規定に依つて適當な小作料や小作條件の定を爲すことが出来るのであります。右の指示を受けた耕作者が、その指示通りに重要農作物の作付をすれば、一定の助成金が交付せられます。本年度の助成金は茶園を整理停止する場合に甲當一〇〇圓、果樹園は甲當二〇〇圓、香水茅畑は甲當五〇圓宛交付されることになつてゐます。尙此の他に整理後作付する農作物の種苗種子購入費として甘藷甲當二圓、花生甲當三圓、蔬菜甲當一七圓が交付せられるのであります。

則はこれを更に法規を以て定めたものであります。次に指示を受けた耕作者が、その指示通りに重要農作物の作付をしないときは、州知事、廳長は臺灣總督の認可を受けて作付の命令を發し得る規定があります。すから、この命令に違反したときには、國家總動員法の罰則規定が適用せられます。

妊産 授乳時に

強カメボリン錠

ビタミンB1は新陳代謝を旺んにし、卵巣機能を促進して黄体ホルモンの生産を旺盛ならしめて……

妊産授乳時に於て本剤の服用は、食慾不振、悪心、四肢倦怠、妊無性浮腫、脚氣、乳兒脚氣、悪阻等を治療防す。

V・B1三含量
一錠中〇・五mg
★100錠 200錠

す。併しこの規定に基づく命令の発動は出来るだけ之を避け、所期の目的を達することが最も時局に適つたものと謂ふ得るのでありますから、此の點各耕作者の協力を希望する次第であります。

臺灣總督又は州知事、廳長が指定する不急農作物の制限

以上説明した通り重要農作物を作付した農地には、今後それ以外の農作物の作付をしてはならないこととし、更に進んで制限農作物の作付を重要農作物の作付に轉換する方法を講じたのであります。尙他に不急農作物の作付面積を増加させない方法を採用しないことには本規則

制定の趣旨が充分達し得ない懸があるのであります。そこで例へば、果樹、桐樹、竹、茅、香料作物、胡麻、姜黄、キャッサバ、生食用甘蔗、西瓜、絲瓜、花卉、觀賞木等に付、夫々の實情に應じ作付を抑制する必要ありと認めて州知事、廳長が州、廳の告示を以て指定したものは昭和十六年三月一日以後にそれ等の作物を作付した農地以外の農地には作付が出来ないことになりました。

併し此の場合にも例外が認められてあります。それは州知事、廳長が特別の定をした場合で、各州廳令によりますと、自家用、學校、試験場等での試験研究の爲とか、その作物以外に作付の出来ない農地に作付する場合とか、州知事、廳長の許可を受けた場合とか種々認められて

ゐるのであります。

尙重要農作物耕地の維持及不急農作物の制限に付ては、本規則公布以前から各州廳令に依り實施せられてゐたのであり、本規則は更に前の州廳令の精神を受け續いてゐるのであります。

以上農地作付統制規則の概要を説明いたしました。此の規則制定の目的は之を要する重要農作物の生産を確保し、尙より以上の増産を期するものであり、この目的を貫徹し得るや否やは實に農業者各位の献身的協力の有無に關するのであります。から、此の點充分理解をして生産増進に努めていただきたいのであります。

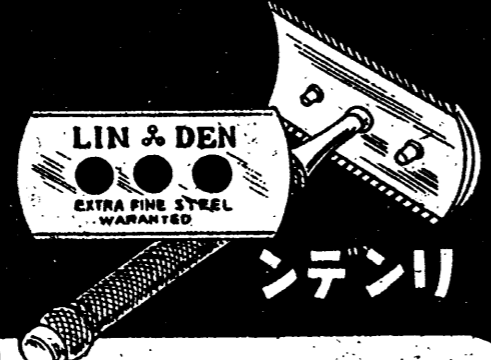
部編輯載資料募集

感話 各地に於ける感感實話又はニュース(一篇の長さは四百字詰原稿紙二枚以内とす)

漫畫 時局又は生活を取り入れたる興味の漫畫(郵便はがき又は美濃半切大の需用紙を用ふる事)

昭和十七年五月十五日刊行
編輯部 臺灣總督府情報課
〒北本市東町二丁目十五番地
印刷部 加藤 豐吉
〒北本市東町二丁目三番地
印刷所 小塚本店印刷工場
〒東京市東區南橋本
電話 南橋本二七〇番
廣告掲載御希望の向きは左記へ御照會御申込を乞ふ
大阪市東區南橋本三ノ十一
「臺灣時報」編輯部
〒東京市東區南橋本
印刷部 南伸社
電話 南橋本一八四三・一八四六番

心地よい感觸!
素晴らしい切味!



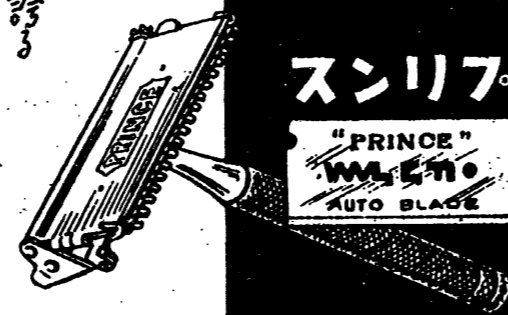
ンデンリ

戦地への慰問は……
銃後の家庭は、旅行は
長く使えて爽やかな切味を誇る。
プリンス(片刃)
リンドン(両刃)をお奨め致します

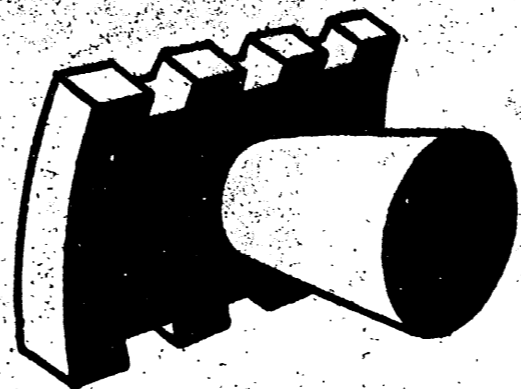
日の丸ブレード製作所

在庫豊富

大阪出張所 大阪市南区堂島通二ノ十五
工場——東京・埼玉——



スプリフ
"PRINCE"
W.L. DEN
AUTO BLADE



レットフー
ード

愉^たしいひげ剃^そり

お肌をひきしめるフー
ード

ホンノ二三滴で結構です

お肌はツヤくと滑らかに

美しい健康色になります